

近藤忍後援会 2016 年活動報告書

発行責任者
後援会長 江野澤政広



2016.12.29 山梨県竜ヶ岳の頂に立つ近藤忍

後援会の皆様には旧年中もご理解を賜り誠に有り難うございます。
近藤忍は本年4月末で木更津市議会議員として10年を越え中堅議員として活躍中です。しかし53歳となる年齢はまだ若く様々なことに果敢に挑戦していきますので、今後も後援会の皆様のご指導ご鞭撻をお願いいたします。

2016年議会活動の一端を報告いたします。本来は年始早々にお送りすべきものですが、遅くなりましたことをご容赦願います。

2017年2月

後援会長 江野澤政広

1. 定例議会における活動報告

近藤忍は、予算委員長であった3月の定例議会を除く3回の定例議会にて個人質問を行いましたので、その概要を報告させていただきます。詳細は木更津市と近藤忍のホームページに記載されております。

6月定例議会：「市役所の職員組織・火葬場の進入道路」

木更津市役所の職員は袖ヶ浦市役所や君津市役所に比べ、人事院勧告に基づく地域手当が少ないため相対的に少ない給与となっています。職員のモチベーションを高めるとともに、人材確保の観点からも中途採用職員の評価方法・女性幹部職員の登用・臨時職員への対応等について質問を行いました。その結果、任期付職員の採用を行うことになり、特に人員不足が深刻な保育士の採用問題も今後は解消していくものと期待します。

火葬場については四市共同で施設の建て替えを進める計画となっています。しかし、それに伴う進入路の整備が問題であり、2021年後半といわれる新施設の供用開始には間に合いません。そのため建築物だけではなく道路の設計協議を急ぐ必要性を示し、行政も検討に取りかかりました。



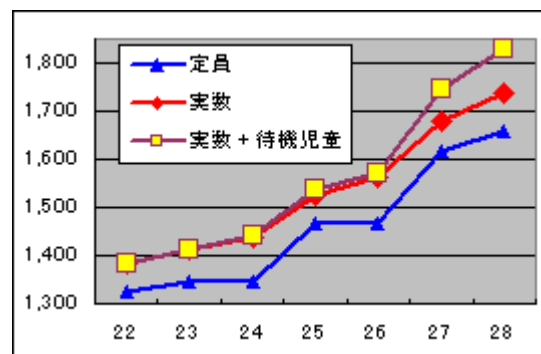
9月定例議会：「岩根地区の課題・学校施設の改修」

江川海岸で急に増加した観光客への対応や数年後に完成予定の江川総合運動場の将来を考えた防災拠点整備・津波避難施設・小櫃堰までの川沿い遊歩道の整備等について質問しました。江川海岸については最近もメディアで取り上げられる機会が多く木更津市に誕生した名勝ですが、未だに十分な活用が出来ていないため今後の課題となっています。

学校は耐震改修事業がほぼ終了したため、これからは老朽化対策に取り掛かります。空調施設については老朽化対策事業が済んだ後で開始する計画にしていたのですが、地球温暖化で猛暑日が増えているため早急に教室にエアコンを設置することを求め、議会中に行った会派要望[裏面参考]においても市長に要求しました。

12月定例議会：「保育園の待機児童問題」

木更津市は今年度県内4番目に待機児童の多い市となりました。右図のように施設定員を増やし入園者実数も増えていますが、待機児童も増えている現状です。そこでまず待機児童を抱えている家庭への支援を求めました。また、私立保育園は定員以上に受け入れています、市立保育園は保育士が不足し定員以下の受入状況にあります。保育園の民営化を進めると同時に保育士を確保するため、様々な具体策を示し解消することを求めました。



※ 議会質問の全文は近藤忍のHP [<http://sinobu.com/situmon/sindex.html>] と
木更津市議会のHP [<http://asp.db-search.com/kisarazu-c/>] で読むことができます。
またインターネット配信 [<http://www.kisarazu-city.stream.jfit.co.jp/>] では動画を見ることが可能です。

2. 委員会や議会内における活動報告

2016年も**総務常任委員会委員長**として行政改革や公共施設料金見直し、老朽化する公共施設の再配置計画の進め方、中期財政計画、国際交流の在り方等について審査を進めました。6月に現消防本部庁舎の老朽化状況を調べた後、7月に土浦市の新消防庁舎を視察し設計での対策を求めました。10月には吉川市で学校に公民館機能等を一体とした複合利用の事例、糸魚川市で税金の徴収率向上策、長野市で総合防災システムと災害時要支援者対策等を視察しました。年末には糸魚川市の大火を受け、議員会とともに委員会も見舞金を送りました。

3月の**予算審査特別委員会**と9月の**決算審査特別委員会**では**委員長**を務め、市役所の予算内容や執行状況を十分に審査出来るよう議論の手順や発言方法を引き続き改革し、議会の責務を果たせるよう務めました。

基地対策特別委員長としてはオスプレイの定期機体整備に対し年間を通しての防衛省との対応・協議を進めるとともに1月には宜野湾市の普天間飛行場におけるオスプレイの飛行実態を視察しました。9月議会では防衛大臣に向けた要望書を発議し、防衛省北関東防衛局長に提出しました。10月24日にはオスプレイとチヌークの騒音比較試験が行われる現場に立ち会いました。防衛省に対して環境や安全が守られるための協定締結を求める中で12月13日に沖縄で不時着事故が発生し、事故原因が明らかになるまでの機体整備延期を求めました。

江川総合運動場の拡張事業等にも引き続き取り組んでおります。



所属会派の**羅針盤**は木更津市議会最大会派として引き続き議会改革を進めています。2016年も研鑽を重ねるため多くの視察を行いました。1月には大竹市で地域公共交通総合連携計画、呉市で行政による屋台への支援策、竹原市で「たけはら海の駅」を学び、7月には諏訪市で空き家バンク制度、南アルプス市で滞在型貸農園（クライנגルテン）、北杜市で廃校を活用した「おいしい学校」に泊まり子育て支援市営住宅を見て参りました。10月21日には要望書を渡辺市長に提出し、本年1月3日に会派報の全戸折り込みをしました。

3. 地域等における活動報告

木更津市農業協同組合の理事は3年の任期を終え、3月29日の総代会において次の理事に引き継ぎました。地域では春の防災訓練、夏の地域交流ラジオ体操、秋の岩根地区文化祭等の様々な行事や会合に参加し、住民の方々と意見交換をしました。春の小櫃川さくら祭りや秋の太田山竹取物語等ではスタッフとして活動しました。

4. 2017年の取り組み

近藤忍は、運用を開始するオスプレイの機体整備にあたり環境や安全対策を注視し、中郷中学校を始めとした学校の統廃合・保育園の民営化・水道事業の広域的統合・東南海地震に向けた防災対策を進め、渡辺市長の掲げる「オーガニックなまちづくり」にも協力して参ります。新消防庁舎の建築・四市共同事業の火葬場・道の駅等多くの建設計画は規模や機能を技師として確認します。そして何より4月に生まれた娘が育つこの木更津市の環境をさらにより良いものにしていくために努力していきたいと考えております。



5. 後援会の案内と入会のお誘い

年賀状ならびに年始の挨拶状を近藤忍本人から郵送することは公職選挙法違反となるため、本年も昨年同様に後援会より会員の皆様に対して近藤忍の活動報告をさせていただきました。本書が届くことにお心当たりのない方は、恐れ入りますが下記までその旨をご連絡下さい。

また、近隣や知人で近藤忍後援会へ入会を希望される方が居られましたら、氏名、住所、電話番号等をお知らせ下さい。連絡は後援会事務所を直接訪問いただくか、郵送・電話・FAX・メール等の方法にてお願いします。

住所:木更津市江川 847 TEL:0438-41-1605 FAX:0438-41-1606 メール:info@sinobu.com